衆議院議員（立憲民主党）
選挙区 / 横浜市青葉区・緑区

江田けんじ

若者が夢を実現でき
お年寄りが長生きして良かった
と言っていただける国をつくりたい！

LINE 公式アカウント
お友だち募集中！

- 1956（昭和31）年4月28日生。東大法卒。旧通産省（現経産省）、首相官邸出向（海部・宮沢内閣）、ハーバード大国際問題研究所フェロー、総理秘書官（政務担当 / 橋本内閣）。退官後、桐蔭横浜大客員教授等を経て、衆議院議員７期
- 家族 妻 子ども二人
- 趣味 旅行（温泉）／カラオケ／食べ歩き／スポーツ観戦（国際試合）
- テレビ・マスコミ出演多数（コメンテーター等）「NHK討論」「スッキリ！」「ひるおび！」「サンデージャポン」「TVタックル」「サンデープロジェクト」「新報道 2001」「朝まで生テレビ」他

政治姿勢　クリーンでしがらみのない政治家にしか国民本位の政治はできない！

1. 政治腐敗の元、企業・団体献金は１円も受け取らない！
2. 改革を阻む、利権・圧力団体からの組織的支援も受けない！
3. 自民党に対抗しうる政権交代可能な一大勢力を結集する！

自民党のライバル政党をつくり、互いに競争し緊張感のある国会にしないと、決して国民本位の政治は実現しません。

政策　この「国のかたち」を変えたい！…明治維新を逆転させる！

明治維新以来、「欧米に追いつけ！追いこせ！」の時代には機能した**「中央集権体制」と「大規模集中型システム」が今や限界**に来ています。「成熟国家」になった日本は、時計の針を巻き戻し、**「集権」から「分権」へ、「集中」から「分散」へと国のかたちを変え**、人への重点投資と、地域のことは地域で決める、**「人と地域が主役の国造り」**をしていく必要があります。

1 「地域分散・分権型 経済社会」の実現を！

太陽光、風力等の小規模分散型電力の普及、医療・介護・福祉、農業等の地域ネットワーク化を図り、「地産地消の内需主導」で地域起こし。そのための権限、財源を国から自治体へ徹底的に移譲。「中央と地方の格差是正」も図る。

2 「人と暮らしへの投資」で未来を切り拓く！

教育や子育て、医療・福祉や年金等に予算を重点配分し「一生安心システム」を構築。それにより将来不安を解消し、かつ、懐（家計）を温め、国民経済の過半を占める「消費」を喚起、研究開発等のイノベーション促進とあわせ、本格的な景気回復を図る。

3 化石燃料に依存しない「自然エネルギー立国」を！

蓄電池等の技術革新や送電網の整備と運用見直し、省エネの促進等で、太陽光・風力・水力等を主要エネルギーに。原発や石炭火力依存から脱却し、２０５０年カーボンニュートラル（脱炭素社会）を実現。

4 現実的な外交・安全保障で「平和国家日本」を守り抜く！

日米同盟を基軸に、「近くは現実的に、遠くは抑制的に、国際貢献は積極的に」を外交・安全保障の基本に。北朝鮮や中国の脅威には万全を期す！（ミサイル防衛の強化や自衛隊と海上保安庁の連携による離島防衛等）。

5 議員や官僚が「身を切る改革」！

議員定数の削減や給与カット、文書通信交通滞在費の使途公開、しがらみを絶つ「企業・団体献金」や「天下り」の禁止等を断行。

波乱万丈

42歳で人生リセット。無職、放浪、落選、山あり谷ありの政治家人生！政治・行政経験45年！それに裏打ちされた政策立案・政局対応

■ 略歴

1 略歴 通商産業省（現経済産業省）～米国留学～総理秘書官

通商産業省（現経済産業省）入省（1979年）

当時は「政治は三流だが官僚が一流だから日本はもっている」（桜田武日経連会長）と言われた時代。国民のためなら官僚ということで入省。ただし、20代の頃は月200時間の残業で残業手当はたったの2万円。サービス残業の極致。

海部・宮澤内閣（官邸）にも出向（総理演説・国会担当）し、湾岸戦争への対応、PKO（国連平和維持活動）協力法制定等に従事。

総理秘書官時代

米ハーバード大学国際問題研究所に留学（フェロー／1987年～88年）

あの「ジャパン・アズ・ナンバーワン」のエズラ・ヴォーゲル教授に師事。良くも悪くも、米国の懐の深さ、草の根民主主義を学ぶ。全米をバックパック一つで旅行も。目からうろこが百枚落ちる。

その時のルームメイトがオバマ政権の大統領補佐官、USTR（米国通商代表部）代表に。

エズラ・ボーゲル教授と

橋本内閣発足に伴い総理秘書官（政治・六大改革担当）に就任（1996年～1998年）

中央省庁の再編（政治主導の強化等）や財政構造改革などの「橋本六大改革」を推進。沖縄・普天間飛行場の返還やロシアとの北方領土交渉等にも従事。特に、大蔵省改革などの行財政改革をめぐって族議員や官僚と激しく渡り合う。この時の経験が政治家としての原点となる。

2 略歴 「天下の素浪人」？南の島に渡り、放浪生活

橋本内閣総辞職に伴い通産省には戻らず、首相官邸にて退職（1998年）。改革に反対する先輩官僚や政治家の醜い姿を見て失望。42歳。ちょうど折返し地点で「人生をリセット」。

500$で買ったオンボロ車とパソコン一台で6か所を転々とする放浪の旅。起きたい時に起き寝たい時に寝る「晴泳雨読」「何もしない贅沢」を満喫。ただ唯一、自らに「橋本政権の総括」を課し、執筆活動。帰国し、「誰のせいで改革を失うのか」（新潮社）を出版。以後、著書多数（下掲）。桐蔭横浜大学で「行政学」を講義。TVコメンテーターも。

南の島で人生をリセット

桐蔭横浜大で教鞭

3 略歴 たった一人の純粋無所属から「自民党のライバル政党」づくり

初出馬の落選を通じ、自民党の「しがらみ選挙」を嫌というほど味わう。この時の経験が今の江田けんじの政治姿勢（一面参照）の原点。

2002年、無所属で自民、民主の候補を破り初当選。この時から一貫して、理念や基本政策を軸とした「政界再編」を訴え続け、それを実践。

政党を渡り歩いているのではなく、公約どおり、「みんなの党」（2009年／幹事長）→「結いの党」（2013年／代表）→「維新の党」（2014年／共同代表。後に代表）→「民進党」（2016年／代表代行）と、次々に自らが政党を結成。

2017年秋の総選挙では、野党が分断される中、無所属で当選。2020年秋、立憲民主党に参画（代表代行）、2021年秋の総選挙で130,925票を頂き、7度目の当選。

2022年10月、衆議院決算行政監視委員長に就任（～24年1月）。

予算委員会で総理と論戦

■ 著書

「誰のせいで改革を失うのか」
官邸発国家改造
総理秘書官の国造り論
新潮社／一九九九年

「首相官邸」
日本の最高権力者のオフィスの中を知れば、日本政治の本当の姿が見えてくる！
文芸春秋／二〇〇二年

「愚直の信念」
官僚国家への最後通牒
江田けんじを知る決定版
PHP研究所／二〇〇九年

「財務省のマインドコントロール」
増税をたくらむ財務省の恐ろしい手口
官僚の大嘘に騙されるな！
幻冬舎／二〇一二年

「政界再編」
来るべき再編に向けて動き出した著者がその不退転の決意について緊急刊行
角川書店／二〇一四年

立憲民主党神奈川県第8区総支部（衆議院議員 江田けんじ事務所）

事務連絡

〒227-0062 横浜市青葉区青葉台 2-9-30

TEL：045-989-3911 ／ FAX：045-989-3912 ／ Mail：edamame@eda-k.net

●公式HP
江田けんじの公式HPです。江田の政治理念や基本政策から日々の政治活動まで

●Youtube
江田けんじの国会質疑や記者会見を収録！チャンネル登録を宜しくお願い致します！

●Facebook
江田けんじ本人が日々更新中！友達申請やフォローを宜しくお願い致します！

●Instgram（グルマン江田）
グルマン江田が地元の紹介したいお店を開拓中！「テイクアウトで地元の飲食店を応援！」連載中